

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	332 後期高齢者医療事務								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部医療年金課 後期高齢者医療係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定事務			
予算科目	01-030104-11 後期高齢者医療に要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間							
個別計画									
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律			事業体制	一部委託				
				市長公約					
概要									
事業の目的				事業の概要					
後期高齢者の健康保持と適切な医療を確保し、福祉増進を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療被保険者に対する人間ドックや健康診査の受診提供</li> <li>医療費給付等を行うために茨城県後期高齢者医療広域連合への負担金の支出を行う。</li> </ul>					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療被保険者に健康診査や人間ドックの受診機会を提供するため、通知のほかホームページ・広報紙等を活用し周知に努める。</li> <li>後期高齢者医療制度の適正な運営のため、茨城県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック 408名、健康診査 5,718名（集団 2,913名、医療機関 2,805名）に受診機会を提供</li> <li>市民便利帳・ライフプランすこやかに検診について掲載</li> <li>4月 広報つくばに集団検診の案内を掲載</li> <li>8月、11月 広報つくばに無料歯科検診の案内を掲載</li> <li>8月 健康診査未受診者 16,889名に勧奨通知を送付</li> <li>茨城県後期高齢者広域連合へ医療給付費負担金、共通経費負担金を支出</li> </ul>					
成果				課題					
後期高齢者の健康診査を実施することにより、健康の保持増進を図ることができた。また、負担金を納入することにより、後期高齢者医療制度が適正に運営された。				人間ドックの助成の財源である国の補助金がR3年度には廃止となるため、現行の助成内容について早急に検討する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）									
R3年度以降の人間ドックの助成のあり方について、国民健康保険課と協議を行う。									
指標の推移									
1	指標名	健康診査受診件数					( 件 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	3,376.0	3,380.0	3,380.0	4,900.0	5,300.0	5,500.0	5,700.0	
	実績	4,267.0	4,458.0	4,680.0	5,253.0	5,718.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	人間ドック受診件数					( 人 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	210.0	251.0	279.0	342.0	408.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	207,511	213,968	213,968	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	50,905	52,600	46,398	0
	一般財源	(千円)	1,566,156	1,628,030	1,684,306	0
事業費計		(千円)	1,824,572	1,894,598	1,944,672	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	136.00	136.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,451	7,395		
事業コスト		(千円)	1,832,023	1,901,993		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 676千円 (印刷製本費)</li> <li>・ 役務費 3,579千円 (郵便料 3,106千円、手数料 473千円)</li> <li>・ 委託料 63,773千円 (検診委託料 61,387千円、健康診査受診券封入封かん 368千円、食生活改善指導委託料 2,018千円)</li> <li>・ 賃借料 692千円 (パーソナルコンピューター賃借料)</li> <li>・ 負担金補助及び交付金 1,526,209千円 負担金 1,517,234千円 (医療費負担金 1,451,801千円、共通経費負担金 65,433千円) 交付金 (人間ドック助成金 8,975千円)</li> <li>・ 繰出金 349,743千円 (職員給与分 41,738千円、事務費分 22,714千円、保険基盤安定繰出 285,291千円)</li> </ul> <p>【計1,944,672千円】</p>
-------------	--

予算の方向性	理由	高齢者の低栄養防止・重症化予防事業を実施するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	333 医療福祉費支給事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部医療年金課 医療福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定+任意			
予算科目	01-030105-11 医療福祉費支給に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間							
個別計画									
根拠法令	茨城県医療福祉対策要綱、つくば市医療福祉費支給条例、つくば市医療福祉費支給条例施行規則 等				事業体制	補助金（直接）			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
医療費の一部を助成することにより、対象者の健康の保持増進を図り、生活の安定と福祉の向上に寄与する。 妊産婦・小児・ひとり親家庭の母子・父子の子育てしやすい環境づくりを推進する。				・対象者からの申請に基づき受給者証を交付し、保険適用となる医療費の一部を助成する。 ※主体となる県制度に市の単独事業を上乗せして実施					
評価									
事業計画				活動実績					
・小児マル福の毎月更新作業及びその他のマル福（妊産婦を除く）7月一斉更新作業を実施する。 ・10月からの県制度拡大のため、6月議会にて医療福祉費支給条例等の一部改正を行う。				・高校生入院マル福拡充に係る条例改正（6月議会） ・小児マル福毎月更新作業及びその他のマル福の一斉更新作業実施（7月） ・周知 広報紙掲載（9月）、区会回覧（9月18日） ・高校生入院マル福制度開始（10月1日） ・重度心身障害者等マル福拡充（H31年4月1日制度開始）に係る条例改正（12月議会） 周知 広報紙掲載（2月）、対象者案内通知（2月19日） ・制度案内等、広報紙に年7回掲載					
成果				課題					
医療にかかる経済的負担の軽減や健康の保持・増進を図ることができた。 精神障害者については、重度心身障害者等マル福の認定要件に精神障害者保健福祉手帳1級を加えたことで、障害の種別による差がなくなり、他の障害と同様の医療費助成が受けられることとなった。				小児マル福の拡充について外部団体から度々要望があるため、県に要望することに併せて、市独自事業拡充の必要性や実施対象分野の優先順位を検討する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）									
小児マル福拡充・精神障害者保健福祉手帳2級所持者への医療費助成の検討の素材として、高校生入院のマル福利用状況・精神障害者保健福祉手帳1級所持者のマル福利用状況等を調査・検証する。									
指標の推移									
1	指標名	医療福祉費支給額					( 千円 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	1,462,164.0	1,504,670.0	1,511,833.0	1,533,879.0	1,586,442.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名						( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	611,740	599,549	614,701	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	158,856	154,105	165,156	0
	一般財源	(千円)	843,253	888,040	880,490	0
事業費計		(千円)	1,613,849	1,641,694	1,660,347	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	4.00	3.50		
		時間外勤務 (時間)	400.00	250.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	29,438	25,321		
事業コスト		(千円)	1,643,287	1,667,015		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 1,559千円 (印刷製本費 1,182千円、消耗品 157千円、修繕料 220千円)</li> <li>・ 役務費 47,337千円 (郵便料 4,534千円、審査支払手数料 42,803千円)</li> <li>・ 委託料 7,649千円 (医療福祉費請求資格業務 6,591千円、その他 1,058千円)</li> <li>・ 使用料及び賃借料 651千円 (窓口発券機 163千円、文書電子化機器 488千円)</li> <li>・ 扶助費 1,603,151千円 (既存：県事業 1,345,276千円、市事業 243,395千円)、 (新規：県事業 14,480千円)</li> </ul>
	計1,660,347千円

予算の方向性	理由	9月県議会において、R1年4月からの重度障害者等マル福拡充の県知事答弁があったため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	6,393	6,554	7,256	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	6,393	6,554	7,256	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	4.00		
		時間外勤務 (時間)	610.00	450.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	22,860	29,345		
事業コスト		(千円)	29,253	35,899		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金 5,900千円(臨時職員賃金 5,900千円)</li> <li>旅費 86千円(普通旅費 11千円、特別旅費 75千円)</li> <li>需用費 1,031千円(消耗品費 383千円、印刷製本費 648千円)</li> <li>役務費 209千円(通信運搬費 209千円)</li> <li>負担金補助及び交付金 30千円(負担金 30千円)</li> </ul>
	計7,256千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	335 後期高齢者医療事務							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部医療年金課 後期高齢者医療係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	05-010101-11 後期高齢者医療事務に要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律			事業体制	一部委託			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
後期高齢者の適切な医療を確保し、福祉増進を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者からの各種申請書の受付、被保険者証等の交付及び納入通知書発行等による収納事務の執行</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>75歳到達者の例月処理、被保険者からの申請書等の受付、被保険者証の引き渡し。</li> <li>収納した保険料は、毎月、市と茨城県広域連合データとの整合性について確認を行う。</li> <li>滞納者への催告を常時実施する。</li> </ul>				4月 新規の特別徴収者に仮徴収額決定通知を送付 7月 年次更新（後期高齢者医療被保険者証、保険料決定及び納入通知書）の送付、保険料について広報つくばに掲載 各月 未納者に督促状送付 4、6、8、10、12、3月に催告書送付（年間を通じ、徴収員による滞納整理） 毎月 75歳到達者へ被保険者証の交付、保険料決定通知及び納付書の送付、窓口での各種申請書の受付業務 毎月 市と茨城県広域連合データとの整合を確認				
成果				課題				
H30年度から徴収員を雇用し滞納者への催告を常時実施したことで、過年度分滞納保険料の収納率が向上した。				更なる現年度分普通徴収保険料収納率の向上を図る。				
改善目標（R01年度にむけて）								
現年度保険料収納率向上のため、徴収員による催告を強化する。								
指標の推移								
1	指標名	現年度分普通徴収保険料の収納率 ( % )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	99.0	99.0	99.0
	実績	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	被保険者証の発行件数 ( 件 )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17,984.0	18,384.0	19,061.0	19,795.0	20,677.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	15,127	17,540	18,114	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	15,127	17,540	18,114	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.80	1.80		
		時間外勤務 (時間)	594.00	594.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	14,292	14,178		
事業コスト		(千円)	29,419	31,718		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬 1,920千円 (徴収嘱託員)</li> <li>賃金 1,967千円 (臨時職員賃金 1,833千円、臨時職員通勤手当 134千円)</li> <li>旅費 107千円 (徴収嘱託員費用弁償)</li> <li>需用費 762千円 (消耗品費 274千円、印刷製本費 488千円)</li> <li>役務費 10,316千円 (郵便料 9,442千円、手数料 874千円)</li> <li>委託料 2,747千円 (システム管理委託料)</li> <li>賃借料 235千円</li> <li>備品購入費 60千円 (ゼンリン住宅地図)</li> </ul>
	計18,114千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	336 後期高齢者医療広域連合納付金事務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部医療年金課 後期高齢者医療係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	05-020101-11 後期高齢者医療広域連合納付金事務に				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
被保険者が納付した保険料等及び保険基盤安定負担金を運営主体である茨城県後期高齢者医療広域連合へ納入することにより、制度の適正な運営に寄与する。					被保険者が納付した特別徴収保険料、普通徴収保険料及び延滞金から還付金を差し引いた徴収金と低所得者に係る保険基盤安定負担金（軽減相当額）を茨城県後期高齢者医療広域連合へ納入する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月上旬に、市が収納した保険料と広域連合データを照合し報告する。</li> <li>毎月下旬に負担金として納入する。</li> <li>3月下旬に保険基盤安定負担金を広域連合に納入する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月 収納した保険料額について、広域連合に報告後負担金として納入（合計1,444,615,500円）</li> <li>3月 保険基盤安定負担金を広域連合に納入（285,290,662円）</li> </ul>					
成果					課題					
保険料等について、市と広域連合の収納の整合を確認し、広域連合に報告後負担金として納入した。										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	負担金納付金額					( 千円 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	1,330,331.0	1,370,721.0	1,455,765.0	1,552,298.0	1,729,907.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	270,850	304,305	285,792	0
	一般財源	(千円)	1,281,448	1,425,602	1,497,936	0
事業費計		(千円)	1,552,298	1,729,907	1,783,728	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,133	2,118		
事業コスト		(千円)	1,554,431	1,732,025		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金 1,783,728千円 (後期高齢者医療医療保険料負担金 1,497,936千円、 保険基盤安定負担金 285,291千円、延滞金分担金 500千円、 保険料過年度精算分 1千円)</li> </ul>
	計1,783,728千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	337 保険料返還事務									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部医療年金課 後期高齢者医療係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	05-030101-11 保険料返還に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>過年度に納付された後期高齢者医療保険料に過誤納金が生じた場合、その過誤納金を返還することにより、適正な保険料を確保する。</p>					<p>・後期高齢者医療被保険者の資格異動（死亡等）や二重納付により保険料、延滞金又は督促手数料に過誤納金が生じた際に、被保険者又は相続権者にその過誤納金を返還する。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>・後期高齢者医療被保険者の資格異動（死亡等）や二重納付により保険料、延滞金又は督促手数料に過誤納金が生じた際に、被保険者又は相続権者にその過誤納金を返還する。</p>					<p>・保険料の過誤納入分2,913,500円を還付した。</p>					
成果					課題					
<p>資格異動や二重納付による過誤納金について、速やかに返還手続を実施し、適正な保険料の個人負担を図ることができた。</p>										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	保険料返還件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	371.0	403.0	439.0	437.0	304.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,966	2,875	5,000	0
	一般財源	(千円)	3	2	0	0
事業費計		(千円)	3,969	2,877	5,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.90	0.90		
		時間外勤務 (時間)	39.00	39.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	6,496	6,449		
事業コスト		(千円)	10,465	9,326		

R01 年度当初積算根拠	償還金利息及び割引料 5,000千円 (還付金)					
	計5,000千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		